

# 「高千穂郷」通信



平成18年10月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.46



意見交換では、安藤知事、高山教育長、落合商工観光労働部長、丸山総務部次長、黒木地域生活部次長、柴岡土木部次長が参加して行われました。



高千穂高校生も参加。高校生からの質問もありました。



意見交換では、観光振興、高千穂鉄道、農業振興、地域みまもり等について意見・質問がありました。

「平成十八年度第五回出前県庁」を高千穂町で開催  
「県民主役の県政」を推進するため、知事と各部長が地域に出向き、県政の重点施策等について説明するとともに意見交換を行う「出前県庁」が十月二十一日に高千穂町自然休養村管理センターで開催しました。安藤知事、高山教育長、落合商工観光労働部長の施策説明の後、意見交換が行われました。約百三十人が参加。

## 県政施策説明の内容



安藤知事は「元気のいいみやぎきをめざして」のテーマで説明  
(要旨)  
・出前県庁は、これまで県からの説明が足りなかったのではないかとこの反省から、我々が出向いて「県政の重点施策」を説明し、意見交換を行うことで、県政に対する理解を深めていただくことを目的に開催している。

・行政の使命は、公平・公正で、県民の皆さんが幸せを感じながら宮崎ですっと暮らしたいと思うことである。  
・長期計画の基本目標として、「人と自然にやさしい元気のいいみやぎづくり」を掲げている。  
・私が知事になってから、県民主役ということで、情報公開を進めるため、県民の皆さんの声を聞く「県民の声」という仕組みを作った。電話、ファクス、メール、はがきで受付けている。「知事と気軽にトーク」も始めた。  
・勝ち残るためには、ここしかないという固有の資源を使うということが大きな要素ではないかと考えている。人まねはしない方がよい。  
・西臼杵には、神話伝説など観光資源に恵まれている。特に、夜神楽などは、毎年楽しみにしている人が多い。もっと、もうかる方に広げていった方がよいと考えている。



高山教育長は「明日の宮崎を担う子どもたちの育成について」のテーマで説明  
(要旨)  
本県の子供達が郷土宮崎や我が国の将来を担い、さらには世界へ羽ばたいていく人材として育てていくためには、「知」「徳」「体」の調和のとれた健やかな子供を育成することが重要。このため、様々な重点施策を推進するとともに、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を認識し、連携・協力する教育環境づくりを進め、県民みんなで子どもを育てていく機運を高める取組を行っている。



落合商工観光労働部長は「地域の資源を生かした元気な観光地づくりについて」のテーマで説明  
(要旨)  
人気の観光地は、優れたリーダーと住民のやる気が育っている。住民が主体となって地域固有の観光資源を見つけ出し、うまく活用している。外部の知恵を入れ、客観的に評価し、魅力を引き出している等の共通した特徴がある。今年度、高千穂町が取り組む県の新規事業を生かして地域で大いに議論し、行政と民間が協働して実効性のある戦略的な観光地づくりプランを策定してほしい。

## 平成18年度21世紀土地改良区創造運動大賞受賞

高千穂町の高千穂土地改良区「水土里(みどり)ネット高千穂」(田崎篤志理事長、組合員281人)は、全国の模範となる21創造運動を展開している水土里ネットを表彰する平成18年度21世紀土地改良区創造運動大賞を受賞しました。

今年度の大賞は、全国で12地区。県内では唯一。この表彰式が、10月10日に京都市で開催された第29回全国土地改良大会京都大会において、行われました。

(受賞のポイント)

「小さな水土里ネットの身の丈にあった活動」と、理念が明確であり、派手さはなくとも地域に密着して、水土里ネットの存在も浸透している等、小規模な水土里ネットの見本となっていること  
小学生を対象にした農作業体験や体験型共同学習など、学校教育と連携を密に図っており、各世代に水土里ネットの認知度が高いこと  
施設見学会や清掃作業の体験を実施し、地域住民に対して、先人の労苦を伝えるとともに、今後も適切に維持管理することで資源を守ろうとする意識を高めていること



授賞式に参加した高千穂土地改良区の田崎理事長(一番右)



昨年度、高千穂土地改良区は高千穂小学校5、6年生を対象に菜種の種まき、刈り取り、脱穀の農業体験を実施。

## 神話の里路 交通安全トークング

秋の全国交通安全運動に合わせ、「しゃべらんのー 神話の里路 交通安全トークング」(高千穂地区交通安全協会主催)が、高千穂町自然休養村管理センターで9月23日に開催されました。西臼杵3町から約250人が参加。



フリートークには地域住民や中高生など8人が参加。飲酒運転と高齢者対策をテーマに意見交換を行いました。

(パネラーは右から)  
高千穂地区安全運転管理者等協議会 会長 竹尾通洋さん  
高千穂町三田井公民館(モデル公民館) 館長 押方芳朗さん  
高千穂高校 佐藤良亮さん  
日之影中学校 飯干友紀さん  
高千穂中学校 坂本憲哉さん  
三ヶ所中学校 興相祥恵さん  
若者代表 佐伯一郎さん  
日之影町高齢者クラブ 山口敏雄さん  
(コーディネータ)  
高千穂警察署 地域交通課長 鍋倉幸彦さん(一番左)



町川高千穂地区交通安全協会会長から各町の代表に1日交通安全協会会長を委嘱  
(左から)高千穂中学校 坂本憲哉さん、  
日之影中学校 飯干友紀さん、  
三ヶ所中学校 興相祥恵さん



トークング終了後は、交通安全のパレードが行われました。

今年初めての試みとして、管内の中学生による交通安全作文の発表が行われました。

## 第11回夕陽の里フェスタ in 五ヶ瀬



阿蘇五岳の雄大な景色をバックに行われた「夕陽の里フェスタ in 五ヶ瀬」

夕日の里づくり推進会議（後藤福光会長）は、五ヶ瀬町桑野内で10月8日に開催しました。県内外から1,800人が来場。

今年から、五ヶ瀬ワイナリーのイベント広場に会場を変えて実施しました。

熊本市のシンガーソングライター 淵上綾香さんのコンサートや古戸野神社の神楽、郷土芸能の披露がありました。

このフェスタは、地域住民全員で取り組んでいるのが特徴です。



当日も、自慢のきれいな夕陽を見ることができました。



会場には、地元の食材を使った料理やぶどうなどの農産物を販売する店が出ていました。



来場者は、芝生の斜面に腰を掛けて出し物を楽しんでいました。

## 平成18年度 障害者スポーツ教室を開催

障害者のスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、県障害者スポーツ協会の主催で毎年実施されており、10月20日に高千穂町中央体育館で開催されました。

今年度は、障害の区別なく誰もが楽しめる「卓球バレー」が紹介され、西臼杵郡内の54名の障害者の方々が、指導員の説明を受けた後、楽しく汗を流しました。



「卓球バレー」を楽しむ参加者

「卓球バレー」は、6人1チームの12人で卓球台を囲み、長さ30センチ（幅10センチ、厚さ1センチ）程度の木製のラケットを各自が持ち、鉛入りの盲人卓球用のピン球を使用して、バレーボールの要領で必ず3打以内で相手コートに返して得点を競うものです。ピン球はネットの下を通過させなければいけません。

## 九州地区治山林道研究発表会で優秀賞

九州地区治山林道研究発表会が、10月6日に宮崎市民プラザで開催され、林道部門に出場した西臼杵支庁林務課の大山淳二技師と県治山林道協会(西臼杵支庁駐在)の菊田哲郎主任技師が優秀賞を受賞しました。

大山技師らは、「木材破砕工法を利用した法面保護工についての一考察」と題し、木材をチップ化して種子、肥料、結合材を合わせることによる林道の法面保護について発表しました。



優秀賞を受賞した大山技師（一番右）



種子の生育状況を調査する大山技師

## 日之影町の大人歌舞伎

10月8日

県の無形文化財に指定されている日之影町岩井川大人(おおひと)地区の「大人歌舞伎」が同地区の歌舞伎の館で上演されました。九州では唯一の農村歌舞伎です。

大人歌舞伎は、天正年間(1573~92年)に日之影地方を治めていた甲斐宗攝が、1595年に延岡藩主高橋元種によって討たれたのを村人が悼み、村人が念仏踊りを奉納していたものが天明年間(1781~89年)に上方から伝わった歌舞伎になったと言われています。



多くの来場者で賑わった大人歌舞伎

## 高千穂ひのかけくり贈呈

9月28日

J A高千穂地区果樹振興会クリ部会(谷川鎮夫会長)は西臼杵支庁長に「高千穂ひのかけくり」を贈呈しました。

西臼杵郡では、約360戸の生産者が約280ヘクタールで栗を生産しています。一昨年、昨年と台風の影響を受け収量も減りましたが、今年は台風の影響も少なく目標としている出荷量200トンをクリアしました。

全国に先駆けて、クリの内部品質を判別できるクリ選果機を新規導入しており、「品質日本一」の産地を目指しています。



支庁長にクリを贈呈する谷川部会長(右から2人目)と工藤副会長(一番右)

## 西臼杵森林まつり

10月7日

西臼杵森林組合(飯干徹組合長)の主催により、J A高千穂地区畜産部家畜市場(高千穂町三田井田口野)で開催されました。

本棚やすのこを作る木工教室、樹木名を当てるクイズ、丸太切り競争、餅つき大会が行われ、約千名が来場しました。

西臼杵支庁の林務課職員も多数参加し、まつりを盛り上げました。



丸太を切るタイムを競う丸太きり競争

## 高千穂の棚田シンポジウム

10月4日

高千穂町と五ヶ村村おこしグループが主催し、高千穂町岩戸の神楽の館で開催されました。

千葉県鴨川市で棚田の保全活動に取り組むNPO法人「大山千枚田保存会」理事長の石田三示さんが

「都市住民オーナーと進める棚田の保全活動」と題した基調講演や同保存会の長村順子さんの「里舞」などが行われました。



基調講演を行うNPO法人「大山千枚田保存会」石田理事長

## 編集後記

「出前県庁」は、県政の重点施策や県が取り組む事業について、直接県民の皆様方に説明を行うことにより、県政に対する理解を得て、県民の皆様との協働による県政運営を推進することを目的に昨年度から開催しています。昨年度が宮崎市、都城市、延岡市で開催され、今年度が日南市、日向市、小林市、西都市、高千穂町で開催されています。知事や部長等と参加者との自由な意見交換は、有意義だと感じました。10月は各地域で各種のイベントが開催されましたが11月も紅葉まつりや神楽等が行われます。観光客をもてなしの心でもてなしリピーターを増やしましょう。修

\* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

### お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760  
URL [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html)

古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

## 刈干切り

高千穂町の秋の風物詩である「刈干切り」が、高千穂町国見ヶ丘で行われました。

刈干切りは、冬場の牛の餌として、山々の草を刈り取る作業。

刈り取ったススキやカヤなどは「トウビ」と呼ばれる円すい形に積み上げて天日で乾燥しながら保存します。

刈干切りが唄われている刈干切唄の全国大会は、高千穂町で毎年開催されており、今年も10月7、8日に開催されました。



長さ約1メートルの刈り干しカマを使って刈干切りを実施